

0001

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：基礎

【問題】わたし _____ 学生です。

ア：は

イ：を

ウ：に

エ：で

答え・解説

正答：ア

ア：「は」は話題を示し、「わたしは学生です」とします。

イ：「を」は目的語を示す助詞で、名詞述語の主題には使いません。

ウ：「に」は到着点・時・存在場所などを示し、この文には合いません。

エ：「で」は動作場所・手段などを示し、この文には合いません。

総合解説：名詞文で話題を示す基本助詞「は」を選ぶ問題です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0002

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：基礎

【問題】まいあさ パン _____ たべます。

ア：が

イ：を

ウ：へ

エ：と

答え・解説

正答：イ

ア：「が」は主語・焦点などを示しますが、食べる対象には通常「を」を使います。

イ：他動詞「たべます」の対象を示すので「を」です。

ウ：「へ」は移動の方向を示します。

エ：「と」は共同相手や引用などを示します。

総合解説：他動詞の目的語を「を」で示す基本用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0003

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：基礎

【問題】7じ _____ おきます。

- ア：を
イ：で
ウ：に
エ：と

答え・解説

正答：ウ

ア：「を」は目的語や通過点などを示します。

イ：「で」は動作場所・手段を示します。

ウ：具体的な時刻「7じ」には時点を示す「に」を使います。

エ：「と」は共同相手などを示します。

総合解説：特定の時刻に行う動作では「に」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0004

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：基礎

【問題】としょかん _____ べんきょうします。

- ア：に
イ：へ
ウ：を
エ：で

答え・解説

正答：エ

ア：「に」は存在場所・到着点などに使いますが、動作場所には通常「で」を使います。

イ：「へ」は移動の方向です。

ウ：「を」は目的語を示します。

エ：勉強という動作を行う場所なので「で」です。

総合解説：動作が行われる場所を示す助詞「で」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0005

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：基礎

【問題】日本 _____ いきます。

ア：へ

イ：を

ウ：が

エ：と

答え・解説

正答：ア

ア：移動の方向・行き先を示す「へ」が適切です。

イ：「を」は目的語などを示します。

ウ：「が」は主語などを示します。

エ：「と」は共同相手などを示します。

総合解説：移動先を示す基本助詞「へ」の用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0006

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】友達 _____ えいがを みます。

ア：に

イ：と

ウ：を

エ：が

答え・解説

正答：イ

ア：「に」は相手を示すこともありますが、「いっしょに見る」相手には「と」が基本です。

イ：いっしょに行動する相手を示すので「と」です。

ウ：「を」は見る対象に使います。

エ：「が」は主語・焦点などを示します。

総合解説：共同相手を示す助詞「と」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0007

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】9じ _____ 5じまで はたらきます。

ア：まで

イ：に

ウ：から

エ：で

答え・解説

正答：ウ

ア：「まで」は終点を表すため、9時側には合いません。

イ：「に」は単一の時点を示しますが、範囲の始点には「から」が自然です。

ウ：始点を表す「から」を使い、「9じから5じまで」とします。

エ：「で」は場所・手段などを示します。

総合解説：時間範囲の始点「から」と終点「まで」の関係を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0008

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】学校は 4じ _____ です。

ア：から

イ：を

ウ：と

エ：まで

答え・解説

正答：エ

ア：「から」は始点を表します。

イ：「を」は目的語などを示します。

ウ：「と」は共同相手などを示します。

エ：終わりの時刻・範囲の終点を表すので「まで」です。

総合解説：時間範囲の終点を示す「まで」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0009

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】これは わたし _____ ほんです。

- ア：の
イ：が
ウ：で
エ：へ

答え・解説

正答：ア

ア：所有・所属を示すので「わたしのほん」とします。

イ：「が」は主語などを示します。

ウ：「で」は動作場所・手段などです。

エ：「へ」は方向を示します。

総合解説：名詞と名詞をつなぎ所有を表す「の」の基本用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0010

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】わたしも 学生です。田中さん _____ 学生です。

- ア：を
イ：も
ウ：へ
エ：で

答え・解説

正答：イ

ア：「を」は目的語を示します。

イ：前の文と同様であることを示す「も」が適切です。

ウ：「へ」は方向を示します。

エ：「で」は動作場所・手段などを示します。

総合解説：同類・追加を示す助詞「も」の用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0011

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】スーパーで りんご _____ みかんを かいました。

- ア：へ
イ：が
ウ：と
エ：に

答え・解説

正答：ウ

ア：「へ」は方向です。

イ：「が」は主語などを示します。

ウ：「りんごとみかん」のように、並列する名詞を「と」で結びます。

エ：「に」は時・到着点などを示します。

総合解説：名詞を完全列挙する接続助詞的な「と」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0012

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】つくえの うえ _____ ほんが あります。

- ア：で
イ：を
ウ：へ
エ：に

答え・解説

正答：エ

ア：「で」は動作場所を示しますが、「あります」の存在場所には通常「に」を使います。

イ：「を」は目的語です。

ウ：「へ」は方向です。

エ：物の存在場所を示すので「に」です。

総合解説：存在文で場所を示す「に」の用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0013

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】だれ _____ きましたか。

ア：が

イ：を

ウ：で

エ：へ

答え・解説

正答：ア

ア：「だれ」が「きました」の主語なので「が」を使います。

イ：「を」は目的語などを示します。

ウ：「で」は動作場所・手段などです。

エ：「へ」は方向です。

総合解説：疑問語が主語になるときの「が」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0014

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：標準

【問題】きのう こうえん _____ さんぽしました。

ア：に

イ：を

ウ：が

エ：と

答え・解説

正答：イ

ア：「に」は到着点・存在場所などに使います。

イ：移動する場所・通過する場所として「こうえんをさんぽする」と言えます。

ウ：「が」は主語などです。

エ：「と」は共同相手などです。

総合解説：移動動詞で経路・場所を「を」で示す用法を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0015

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：応用

【問題】先生 _____ 日本語を ならいます。

ア：を

イ：で

ウ：に

エ：へ

答え・解説

正答：ウ

ア：「を」は学ぶ対象「日本語」に使います。

イ：「で」は場所・手段などです。

ウ：教えてくれる相手を「先生に」で示します。

エ：「へ」は方向です。

総合解説：「ならう」の相手を示す格助詞「に」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0016

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：応用

【問題】はし _____ ごはんを たべます。

ア：に

イ：を

ウ：が

エ：で

答え・解説

正答：エ

ア：「に」は時・到着点などです。

イ：「を」は食べる対象に使います。

ウ：「が」は主語などです。

エ：食事に使う道具・手段を示すので「で」です。

総合解説：手段・道具を示す「で」の用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0017

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：応用

【問題】日曜日 _____ どこへも いきません。

ア：は

イ：を

ウ：と

エ：で

答え・解説

正答：ア

ア：日曜日を話題として提示するので「は」が自然です。

イ：「を」は目的語などです。

ウ：「と」は共同相手などです。

エ：「で」は動作場所・手段などです。

総合解説：時間名詞を話題として示す「は」の用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0018

文法形式選択 > 助詞・格関係 | 難易度：応用

【問題】ねこ _____ いぬが すきです。

ア：まで

イ：より

ウ：しか

エ：から

答え・解説

正答：イ

ア：「まで」は範囲の終点です。

イ：比較の基準を示し、「ねこよりいぬがすきです」とします。

ウ：「しか」は否定表現と結びつき限定を示しますが、この単純比較には合いません。

エ：「から」は始点・理由などです。

総合解説：比較の基準を示す「より」を選ぶ問題です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0019

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：基礎

【問題】きのう えいがを _____。

ア：みます

イ：みません

ウ：みました

エ：みませんでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「みます」は非過去です。

イ：「みません」は非過去の否定です。

ウ：「きのう」は過去なので、肯定過去の「みました」が適切です。

エ：「みませんでした」は過去の否定です。

総合解説：時間表現と動詞の肯定過去形を対応させます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0020

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：基礎

【問題】あした 学校へ _____。

ア：いきました

イ：いきませんでした

ウ：いったです

エ：いきます

答え・解説

正答：エ

ア：「いきました」は過去です。

イ：「いきませんでした」は過去否定です。

ウ：「いったです」は標準的な丁寧形ではありません。

エ：「あした」は未来の予定なので、丁寧な非過去形「いきます」が適切です。

総合解説：未来・予定にも非過去形を使うことを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0021

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：基礎

【問題】きょうは さむく _____。

ア：ないです

イ：ありませんでした

ウ：でした

エ：します

答え・解説

正答：ア

ア：い形容詞「さむい」の否定は「さむくないです」です。

イ：「ありませんでした」は過去否定で、また「さむく」と直接組み合わせる形ではありません。

ウ：「さむくでした」は不自然です。

エ：「さむくします」は『寒くする』の意味になり、状態否定ではありません。

総合解説：い形容詞の丁寧な否定形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0022

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：基礎

【問題】きのうは さむ _____。

ア：いです

イ：かったです

ウ：くないです

エ：でした

答え・解説

正答：イ

ア：「さむいです」は非過去です。

イ：い形容詞「さむい」の過去肯定は「さむかったです」です。

ウ：「さむくないです」は非過去否定です。

エ：「さむでした」とは言いません。

総合解説：い形容詞の過去形「～かったです」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0023

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：基礎

【問題】このへやはしずか _____。

ア：でしかない

イ：くないです

ウ：です

エ：います

答え・解説

正答：ウ

ア：「でしかない」は誤った形です。

イ：「しずかくないです」は誤りで、否定なら「しずかではありません」などです。

ウ：な形容詞「しずか」の丁寧な非過去肯定は「しずかです」です。

エ：「しずかいます」とは言いません。

総合解説：な形容詞の基本的な丁寧形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0024

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】きのう、このみせはやすみ _____。

ア：です

イ：ではありません

ウ：ます

エ：でした

答え・解説

正答：エ

ア：「です」は非過去です。

イ：「ではありません」は非過去否定です。

ウ：名詞に「ます」は付きません。

エ：名詞「やすみ」の過去肯定なので「やすみでした」です。

総合解説：名詞述語の過去形「でした」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0025

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】日曜日は 学校へ _____。

ア：いきません

イ：いきました

ウ：いきますでした

エ：行ってませんです

答え・解説

正答：ア

ア：習慣的な否定として「いきません」が適切です。

イ：「いきました」は過去肯定です。

ウ：「いきますでした」は誤った活用です。

エ：「行ってませんです」は標準的な丁寧形ではありません。

総合解説：動詞の丁寧な非過去否定形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0026

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】きのうは べんきょう _____。

ア：しません

イ：しませんでした

ウ：しませんでした

エ：しないでした

答え・解説

正答：イ

ア：「しません」は非過去否定です。

イ：「きのう」の過去否定なので「しませんでした」が正しいです。

ウ：「しませんでした」は誤った形です。

エ：「しないでした」は標準的な丁寧過去否定ではありません。

総合解説：サ変動詞「する」の過去否定を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0027

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】この りんごは あま _____。

ア：かったです

イ：くありませんでした

ウ：いです

エ：でした

答え・解説

正答：ウ

ア：「あまかったです」は過去です。

イ：「あまくありませんでした」は過去否定です。

ウ：現在の性質を述べるので「あまいです」です。

エ：い形容詞にそのまま「でした」は付けません。

総合解説：い形容詞の非過去肯定形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0028

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】この かばんは あまり たかく _____。

ア：あります

イ：です

ウ：でした

エ：ないです

答え・解説

正答：エ

ア：「あまりたかくあります」は不自然です。

イ：「たかくです」とは言いません。

ウ：「たかくでした」とは言いません。

エ：「あまり」は通常否定と結びつき、「あまり たかくないです」とします。

総合解説：副詞「あまり」とい形容詞否定の組み合わせを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0029

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】田中さんはきのう げんきでは _____。

ア：ありませんでした

イ：ありません

ウ：あります

エ：でした

答え・解説

正答：ア

ア：「きのう」のな形容詞否定過去なので「げんきではありませんでした」です。

イ：「ありません」は非過去否定です。

ウ：「あります」では肯定になります。

エ：「げんきではでした」は不自然です。

総合解説：な形容詞の丁寧な過去否定を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0030

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】わたしはきのう 8じに うちへ _____。

ア：かえります

イ：かえりました

ウ：かえりません

エ：かえってです

答え・解説

正答：イ

ア：「かえります」は非過去です。

イ：「きのう」の過去の動作なので「かえりました」です。

ウ：「かえりません」は非過去否定です。

エ：「かえってです」は文末の丁寧過去形として誤りです。

総合解説：五段動詞の丁寧過去形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0031

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】このほんはおもしろく _____。

ア：です

イ：います

ウ：ありません

エ：でした

答え・解説

正答：ウ

ア：「おもしろくです」は誤りです。

イ：「おもしろくいます」は誤りです。

ウ：い形容詞の丁寧な否定として「おもしろくありません」が成立します。

エ：「おもしろくでした」は誤りです。

総合解説：い形容詞の「～くありません」型否定を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0032

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：標準

【問題】きのうのテストは かんたん _____。

ア：です

イ：なくなかったです

ウ：ありません

エ：でした

答え・解説

正答：エ

ア：「です」は非過去です。

イ：「かんたんなくなかったです」は、な形容詞に「く」を付けるため誤りです。

ウ：「かんたんありません」とは言いません。

エ：な形容詞「かんたん」の過去肯定なので「かんたんでした」です。

総合解説：な形容詞の過去肯定を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0033

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：応用

【問題】らいしゅうはいそがしく _____。

ア：なります

イ：なりました

ウ：でした

エ：あります

答え・解説

正答：ア

ア：未来の変化を表し、「いそがしくなります」が自然です。

イ：「なりました」は過去です。

ウ：「いそがしくでした」は誤りです。

エ：「いそがしくあります」はこの文では自然ではありません。

総合解説：い形容詞＋「なる」の基本的な変化表現を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0034

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：応用

【問題】きのうは ひまでは _____。

ア：ありません

イ：ありませんでした

ウ：ないでした

エ：ありませんです

答え・解説

正答：イ

ア：「ありません」は非過去否定です。

イ：「きのう」のな形容詞過去否定なので「ひまではありませんでした」です。

ウ：「ないでした」は標準的な形ではありません。

エ：「ありませんです」は丁寧表現を重ねた不自然な形です。

総合解説：な形容詞過去否定の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0035

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：応用

【問題】まだ しゅくだいを _____。

ア：しました

イ：します

ウ：していません

エ：しませんでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「しました」では完了済みになります。

イ：「します」はこれからの動作・習慣を表します。

ウ：「まだ」と未完了を表すので「まだ していません」が自然です。

エ：「しませんでした」は単なる過去否定で、未完了のニュアンスが弱いです。

総合解説：「まだ～ていません」で未完了を表す基本形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0036

文法形式選択 > 活用・時制・肯否 | 難易度：応用

【問題】もう ごはんを _____。

ア：たべます

イ：たべません

ウ：たべてませんでした

エ：たべました

答え・解説

正答：エ

ア：「たべます」は非過去で、完了を表しません。

イ：「たべません」は非過去否定です。

ウ：「たべてませんでした」はこの文脈では不自然で、完了肯定になりません。

エ：「もう」は完了した動作と結びつきやすく、「もう たべました」が自然です。

総合解説：副詞「もう」と過去完了の関係を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0037

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：基礎

【問題】あさ おきて、かおを _____、ごはんを たべます。

ア：あらって

イ：あらいます

ウ：あらった

エ：あらう

答え・解説

正答：ア

ア：動作を順につなぐので、動詞「あらう」のて形「あらって」を使います。

イ：「あらいます」は文をつなぐ形ではありません。

ウ：「あらった」は普通形過去で、この位置では動作接続になりません。

エ：「あらう」は辞書形で、ここでは接続できません。

総合解説：複数の動作を順番に述べる時、前の動詞をて形にします。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0038

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：基礎

【問題】きのう スーパーへ _____、パンを かいました。

ア：いきます

イ：いって

ウ：いった

エ：いく

答え・解説

正答：イ

ア：「いきます」は丁寧形で、後ろの文と直接つなげません。

イ：「行く」のて形は「いって」で、後続の動作につなげます。

ウ：「いった」は過去形で、この位置では接続の形になりません。

エ：「いく」は辞書形で、接続にはて形が必要です。

総合解説：「行く」のて形は促音便で「いって」となります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0039

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：基礎

【問題】このへやはひろくて、_____です。

ア：あかるく

イ：あかるかった

ウ：あかるい

エ：あかるさ

答え・解説

正答：ウ

ア：「あかるくです」とは言いません。

イ：「あかるかったです」では過去の意味になり、単純な並列とずれます。

ウ：い形容詞「ひろい」の「～くて」で性質を並べ、後ろには述語「あかるいです」が続きます。

エ：「あかるさ」は名詞で、ここでは文が不自然です。

総合解説：い形容詞を「～くて」で接続し、複数の性質を述べます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0040

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：基礎

【問題】田中さんはげんきで、_____人です。

ア：しんせつで

イ：しんせつに

ウ：しんせつの

エ：しんせつな

答え・解説

正答：エ

ア：「しんせつで」は後ろに別の述語をつなぐ形です。

イ：「しんせつに」は動詞を修飾する形です。

ウ：「しんせつの」は標準的なな形容詞の連体形ではありません。

エ：名詞「人」を修飾するな形容詞は「しんせつな人」とします。

総合解説：な形容詞は接続では「で」、名詞修飾では「な」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0041

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】ごはんを _____ から、べんきょうします。

- ア：たべて
イ：たべます
ウ：たべた
エ：たべる

答え・解説

正答：ア

ア：「～てから」は『～したあとで』を表すので「たべてから」です。
イ：「たべますから」は理由の「から」になり、意味が変わります。
ウ：「たべたから」は理由を表す形になりやすいです。
エ：「たべるから」は理由・予定の説明になり、「～てから」と異なります。
総合解説：動作の順序を表す「～てから」では必ずて形を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0042

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】えんぴつで なまえを _____ ください。

- ア：かきます
イ：かいて
ウ：かく
エ：かいた

答え・解説

正答：イ

ア：「かきますください」とは言いません。
イ：依頼表現「～てください」なので「かいてください」です。
ウ：「かくください」とは言いません。
エ：「かいたください」とは言いません。
総合解説：依頼の「～てください」は動詞のて形に接続します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0043

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】ここに _____ ください。

ア：すわります

イ：すわる

ウ：すわって

エ：すわった

答え・解説

正答：ウ

ア：「すわりますください」は誤りです。

イ：「すわるください」は誤りです。

ウ：「すわる」のて形「すわって」に「ください」を付けます。

エ：「すわったください」は誤りです。

総合解説：五段動詞「すわる」のて形は「すわって」です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0044

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】まどを _____、へやがすずしく になりました。

ア：あけます

イ：あけた

ウ：あける

エ：あけて

答え・解説

正答：エ

ア：「あけます」は文を直接つなぐ形ではありません。

イ：「あけた」は普通形過去で、ここでは接続の働きをしません。

ウ：「あける」は辞書形です。

エ：前の動作と後の結果をつなぐため「あけて」を使います。

総合解説：て形は動作とその後の結果を自然につなぐことができます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0045

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】この かばんは やすくて、_____ です。

- ア：べんり
イ：べんりな
ウ：べんりに
エ：べんりで

答え・解説

正答：ア

ア：前のい形容詞を「やすくて」でつなぎ、文末は「べんりです」とします。

イ：「べんりなです」とは言いません。

ウ：「べんりにです」とは言いません。

エ：「べんりでです」とは言いません。

総合解説：異なる種類の形容詞を接続して並べる形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0046

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】日曜日は そうじをして、せんたくを _____。

- ア：して
イ：します
ウ：した
エ：するて

答え・解説

正答：イ

ア：「して」では文が途中で終わってしまいます。

イ：最後の動作は文末なので丁寧形「します」で終わるのが自然です。

ウ：「した」では文体が普通形になり、前後の丁寧さと合いません。

エ：「するて」は誤った形です。

総合解説：て形で動作を並べ、最後の動詞で時制・丁寧さを示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0047

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：標準

【問題】きょうは 雨で、_____ です。

ア：さむくて

イ：さむかった

ウ：さむい

エ：さむさ

答え・解説

正答：ウ

ア：「さむくてです」とは言いません。

イ：「さむかったです」は過去になります。

ウ：名詞「雨」を「で」でつなぎ、後ろは述語「さむいです」とします。

エ：「さむさです」は名詞化した形で意味が変わります。

総合解説：名詞述語を「で」で接続し、後ろに別の述語を続けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0048

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：応用

【問題】駅まで _____、それから 電車に のります。

ア：あるきます

イ：あるいた

ウ：あるく

エ：あるいて

答え・解説

正答：エ

ア：「あるきます」は接続形ではありません。

イ：「あるいた」は普通形過去です。

ウ：「あるく」は辞書形です。

エ：「あるく」のて形「あるいて」で、次の動作へつなぎます。

総合解説：「歩く」のて形は「歩いて」です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0049

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：応用

【問題】シャワーを _____ から、ねます。

ア：あびて

イ：あびます

ウ：あびた

エ：あびる

答え・解説

正答：ア

ア：「～てから」で順序を表すため「あびてから」とします。

イ：「あびますから」は理由表現になります。

ウ：「あびたから」は理由を表す形です。

エ：「あびるから」も理由・予定の説明になり、順序表現ではありません。

総合解説：「～てから」による動作順序を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0050

文法形式選択 > て形・接続 | 難易度：応用

【問題】この レストランは きれいで、りょうりも _____。

ア：おいしくてです

イ：おいしいです

ウ：おいしかったです

エ：おいしいで

答え・解説

正答：イ

ア：「おいしくてです」とは言いません。

イ：な形容詞「きれい」を「で」でつなぎ、後ろは「おいしいです」とします。

ウ：「おいしかったです」では過去になります。

エ：い形容詞「おいしい」に「で」は直接付きません。

総合解説：前半の接続形式と、文末述語の正しい形を区別します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0051

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：基礎

【問題】つくえのうえに ほんが _____。

ア：います

イ：ですか

ウ：あります

エ：します

答え・解説

正答：ウ

ア：「います」は人・動物など生き物の存在に使います。

イ：「ですか」は疑問の形で、存在動詞ではありません。

ウ：本は物なので、存在を表す「あります」を使います。

エ：「します」は行為を表します。

総合解説：物の存在には「あります」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0052

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：基礎

【問題】きょうしつに 先生が _____。

ア：あります

イ：します

ウ：なります

エ：います

答え・解説

正答：エ

ア：「あります」は主に物の存在に使います。

イ：「します」は行為を表します。

ウ：「なります」は変化を表します。

エ：先生は人なので、存在を表す「います」を使います。

総合解説：人・動物の存在には「います」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0053

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：基礎

【問題】ゆうびんきょくは ぎんこうの となり _____。

ア：です

イ：あります

ウ：います

エ：をします

答え・解説

正答：ア

ア：場所の位置関係を名詞述語で説明するので「となりです」とします。

イ：「となりあります」は不自然で、存在を言うなら「となりにあります」とします。

ウ：「います」は人・動物の存在に使います。

エ：「をします」は位置説明になりません。

総合解説：場所の位置を名詞述語「～です」で表す基本文です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0054

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：基礎

【問題】ねこはいすの した _____ います。

ア：で

イ：に

ウ：を

エ：へ

答え・解説

正答：イ

ア：「で」は動作場所を示します。

イ：生き物の存在場所を示すので「したに います」です。

ウ：「を」は目的語などを示します。

エ：「へ」は方向を示します。

総合解説：存在動詞「います」の場所には「に」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0055

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】東京は 大阪 _____ 人が おおいです。

ア：まで

イ：から

ウ：より

エ：しか

答え・解説

正答：ウ

ア：「まで」は終点です。

イ：「から」は始点・理由などです。

ウ：比較の基準を示すので「大阪より」です。

エ：「しか」は否定と結びつく限定表現です。

総合解説：比較の基準を示す「より」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0056

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】りんごと みかんと、どちら _____ すきですか。

ア：を

イ：で

ウ：へ

エ：が

答え・解説

正答：エ

ア：「を」は目的語を示しますが、「すき」は通常「が」と結びつきます。

イ：「で」は場所・手段などです。

ウ：「へ」は方向です。

エ：疑問語的な「どちら」が選択の焦点なので「どちらがすきですか」とします。

総合解説：「どちらが～ですか」という比較質問の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0057

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】りんごより みかんの ほう _____ すきです。

- ア：が
イ：を
ウ：で
エ：に

答え・解説

正答：ア

ア：比較構文「AよりBのほうが～」では「ほうが」とします。

イ：「ほうをすき」は不自然です。

ウ：「ほうですき」はこの比較構文になりません。

エ：「に」は時・到着点・存在場所などを示す助詞で、この比較構文「ほうが～」には使いません。

総合解説：「AよりBのほうが～」の基本比較構文です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0058

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】スポーツの なかで サッカーが いちばん _____。

- ア：すきでしたか
イ：すきです
ウ：すきに
エ：すきな

答え・解説

正答：イ

ア：「すきでしたか」は過去疑問になり文意が変わります。

イ：「いちばん すきです」で最上級のな好みを表します。

ウ：「すきに」では文が終わりません。

エ：「すきな」は後ろに名詞が必要です。

総合解説：「～のなかで～がいちばん～」の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0059

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】りんごが5 _____ あります。

ア：にん

イ：まい

ウ：こ

エ：ほん

答え・解説

正答：ウ

ア：「にん」は人を数えます。

イ：「まい」は薄く平たい物を数えます。

ウ：りんごの個数は一般に助数詞「こ」で数えられます。

エ：「ほん」は細長い物を数えます。

総合解説：名詞に合った基本助数詞を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0060

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】学生が3 _____ います。

ア：こ

イ：まい

ウ：だい

エ：にん

答え・解説

正答：エ

ア：「こ」は一般の物の個数です。

イ：「まい」は薄い物です。

ウ：「だい」は機械・車などです。

エ：人を数えるので助数詞「にん」を使います。

総合解説：人の人数を表す「にん」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0061

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：標準

【問題】かみを 2 _____ ください。

ア：まい

イ：ほん

ウ：にん

エ：だい

答え・解説

正答：ア

ア：紙のような薄く平たい物は「まい」で数えます。

イ：「ほん」は細長い物です。

ウ：「にん」は人です。

エ：「だい」は機械・車などです。

総合解説：物の形状に合う助数詞を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0062

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：応用

【問題】えんぴつが 4 _____ あります。

ア：まい

イ：ほん

ウ：にん

エ：ひき

答え・解説

正答：イ

ア：「まい」は薄い物です。

イ：えんぴつのような細長い物は「ほん」で数えます。

ウ：「にん」は人です。

エ：「ひき」は小動物などです。

総合解説：細長い物に使う助数詞「ほん」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0063

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：応用

【問題】このへやにいすはいくつ _____ か。

ア：います

イ：でする

ウ：あります

エ：なります

答え・解説

正答：ウ

ア：「います」は生き物の存在に使います。

イ：「でする」は誤った形です。

ウ：物「いす」の個数を尋ねるので「いくつありますか」です。

エ：「なります」は変化です。

総合解説：数量疑問詞「いくつ」と物の存在「あります」を組み合わせます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0064

文法形式選択 > 存在・位置・比較・数量 | 難易度：応用

【問題】うちから 駅まで 20ぶん _____ がかかります。

ア：しか

イ：だけを

ウ：ほどにを

エ：ぐらい

答え・解説

正答：エ

ア：「しか」は否定と結びつく限定表現で、この肯定文には合いません。

イ：「だけを」は助詞の組み合わせが不自然です。

ウ：「ほどにを」は誤った助詞連結です。

エ：おおよその数量を表す「20ぶんぐらい」が自然です。

総合解説：概数を表す「ぐらい」の基本用法を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0065

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：基礎

【問題】わたしは 日本へ _____ です。

ア：いきたい

イ：いきますたい

ウ：いってたい

エ：いくたい

答え・解説

正答：ア

ア：動詞「いく」の希望形は、ます形の語幹「いき」+「たい」で「いきたい」です。

イ：「いきますたい」とは言いません。

ウ：「いってたい」は希望形として誤りです。

エ：「いくたい」は辞書形に直接「たい」を付けた誤りです。

総合解説：自分の希望を表す「～たい」の作り方を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0066

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：基礎

【問題】みずを _____ ください。

ア：のみます

イ：のんで

ウ：のむ

エ：のんだ

答え・解説

正答：イ

ア：「のみますください」は誤りです。

イ：依頼「～てください」なので「のむ」のて形「のんで」を使います。

ウ：「のむください」は誤りです。

エ：「のんだください」は誤りです。

総合解説：依頼表現「～てください」はて形に接続します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0067

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：基礎

【問題】ここで しゃしんを とっても _____ ですか。

ア：よくないで

イ：いけませんかない

ウ：いい

エ：だめを

答え・解説

正答：ウ

ア：「よくないですか」は形が不自然です。

イ：「いけませんかない」は誤った形です。

ウ：許可を求める「～てもいいですか」が正しい形です。

エ：「だめをですか」は助詞・述語の形が誤りです。

総合解説：許可を求める基本表現「～てもいいですか」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0068

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：基礎

【問題】ここで たばこを すっては _____。

ア：いいです

イ：ください

ウ：しましょう

エ：いけません

答え・解説

正答：エ

ア：「～てはいいです」では許可に近い意味になります。

イ：「～てはください」は禁止表現ではありません。

ウ：「～てはしましょう」は不自然です。

エ：禁止を表す「～てはいけません」が適切です。

総合解説：禁止の基本表現「～てはいけません」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0069

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】いっしょに えいがを _____ か。

ア：みません

イ：みました

ウ：みませんでした

エ：みないです

答え・解説

正答：ア

ア：誘いの丁寧表現「～ませんか」を使い、「みませんか」とします。

イ：「みましたか」は過去の質問です。

ウ：「みませんでした」は誤りです。

エ：「みないですか」は誤った形です。

総合解説：相手を誘う「～ませんか」の基本用法です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0070

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】ちょっと やすみ _____。

ア：たいですか

イ：ましょう

ウ：ませんでした

エ：てくださいか

答え・解説

正答：イ

ア：「やすみたいですか」は相手の希望を尋ねる形です。

イ：一緒に行動する提案として「やすみましょう」が自然です。

ウ：「やすみませんでした」は過去否定です。

エ：「やすみてくださいか」は誤った形です。

総合解説：提案・勧誘の「～ましょう」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0071

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】にもつを _____ ましょうか。

ア：もって

イ：もつ

ウ：もち

エ：もちたい

答え・解説

正答：ウ

ア：「もってましようか」は標準的な形ではありません。

イ：「もつましようか」は辞書形に直接付きません。

ウ：申し出の「～ましようか」は、ます形の語幹「もち」に接続して「もちましようか」とします。

エ：「もちたいましようか」は希望と勧誘が混ざった誤りです。

総合解説：相手への申し出を表す「～ましようか」の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0072

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】あたらしいくつが _____ です。

ア：ほします

イ：ほしんで

ウ：ほしかう

エ：ほしい

答え・解説

正答：エ

ア：「ほします」は誤りです。

イ：「ほしんで」は誤った形です。

ウ：「ほしかう」は誤りです。

エ：物が欲しいときは「Nがほしいです」とします。

総合解説：物への希望を表す「ほしい」の基本構文です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0073

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】つかれました。きょうは はやく _____ です。

ア：ねたい

イ：ねますたい

ウ：ねてほしい

エ：ねるました

答え・解説

正答：ア

ア：自分が寝ることを望むので「ねたいです」が適切です。

イ：「ねますたい」は誤った作り方です。

ウ：「ねてほしい」は他者に寝てほしいという意味になり、主語の希望と異なります。

エ：「ねるました」は活用が誤りです。

総合解説：動作への自分の希望「～たい」を文脈で判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0074

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】すみません、もういちど _____ ください。

ア：いいます

イ：いって

ウ：いう

エ：いった

答え・解説

正答：イ

ア：「いいますください」は誤りです。

イ：相手にもう一度言うよう依頼するので「いってください」です。

ウ：「いうください」は誤りです。

エ：「いったください」は誤りです。

総合解説：依頼表現で「いう」のて形「いって」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0075

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：標準

【問題】A：この いすに すわっても いいですか。B：はい、_____。

ア：すわりません

イ：いけません

ウ：いいですよ

エ：だめでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「すわりません」は話し手自身の否定になり、許可応答ではありません。

イ：「いけません」は禁止になります。

ウ：許可への肯定応答として「いいですよ」が自然です。

エ：「だめでした」は過去の否定的評価で不自然です。

総合解説：許可質問に対する自然な肯定応答を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0076

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：応用

【問題】A：あした いっしょに ひるごはんを たべませんか。B：ええ、_____。

ア：たべませんでした

イ：たべたいですか

ウ：たべてはいけません

エ：たべましょう

答え・解説

正答：エ

ア：「たべませんでした」は過去否定です。

イ：「たべたいですか」は相手に希望を尋ね返す形です。

ウ：「たべてはいけません」は禁止です。

エ：誘いを受ける返答として「たべましょう」が自然です。

総合解説：「～ませんか」の誘いに対する肯定応答を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0077

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：応用

【問題】ここに くるまを とめては _____。

ア：いけません

イ：いいです

ウ：ほしいです

エ：ましょう

答え・解説

正答：ア

ア：「～てはいけません」で禁止を表します。

イ：「～てはいいです」では許可の意味に近くなります。

ウ：「～てはほしいです」は不自然で、禁止ではありません。

エ：「～てはましょう」は誤りです。

総合解説：禁止表現を別の場面で確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0078

文法形式選択 > 希望・依頼・許可・誘い | 難易度：応用

【問題】A：まどを あけましょうか。B：はい、_____。

ア：あけませんか

イ：おねがいします

ウ：だめでした

エ：あけたいですか

答え・解説

正答：イ

ア：「あけませんか」は新たな誘いになり、返答として不自然です。

イ：申し出を受ける返答として「おねがいします」が自然です。

ウ：「だめでした」は過去の否定評価です。

エ：「あけたいですか」は希望を尋ねる形です。

総合解説：「～ましょうか」という申し出への自然な応答を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0079

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：基礎

【問題】わたしは 友達に プレゼントを _____。

ア：もらいました

イ：くれました

ウ：あげました

エ：ありました

答え・解説

正答：ウ

ア：「もらいました」は自分が受け取る時に使います。

イ：「くれました」は他者が自分側へ与える時に使います。

ウ：自分から友達へ物を与えたので「あげました」が適切です。

エ：「ありました」は物の存在を表します。

総合解説：授受の方向が「自分→友達」なので「あげる」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0080

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：基礎

【問題】わたしは 友達に ほんを _____。

ア：あげました

イ：くれました

ウ：かしました

エ：もらいました

答え・解説

正答：エ

ア：「あげました」は自分から相手へ与える意味です。

イ：「くれました」は主語が与え手になる形なので、この「わたしは」と合いません。

ウ：「かしました」は自分が相手に貸す意味です。

エ：自分が友達から本を受け取ったので「もらいました」が適切です。

総合解説：受け手を主語にして「～に / から もらう」と表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0081

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：基礎

【問題】友達がわたしに おかしを _____。

ア：くれました

イ：あげました

ウ：もらいました

エ：かいました

答え・解説

正答：ア

ア：友達が自分に物を与えたので「くれました」が適切です。

イ：「あげました」は与える方向が話し手側ではない場合に使うのが基本で、この文では「くれました」が自然です。

ウ：「もらいました」は受け手を主語にするため、「友達が」と合いません。

エ：「かいました」は購入した意味です。

総合解説：与え手が他者、受け手が話し手の場合は「くれる」を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0082

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：基礎

【問題】母は 妹に えんぴつを _____。

ア：もらいました

イ：あげました

ウ：くれました

エ：ならいました

答え・解説

正答：イ

ア：「もらいました」は母が受け取った意味になります。

イ：母から妹へ物を与える関係なので「あげました」が適切です。

ウ：「くれました」は話し手側への授与を表すのが基本で、妹への授与には「あげました」が自然です。

エ：「ならいました」は教えてもらう意味です。

総合解説：第三者から第三者への授与では「あげる」が基本です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0083

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：基礎

【問題】わたしは 京都へ いった ことが _____。

- ア：います
イ：します
ウ：あります
エ：なります

答え・解説

正答：ウ

ア：「います」は人・動物の存在に使います。

イ：「します」では経験表現になりません。

ウ：経験を表す「～たことがあります」の形なので「あります」です。

エ：「なります」は変化を表します。

総合解説：過去の経験は「動詞た形＋ことがあります」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0084

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】田中さんは すしを たべた ことが _____。

- ア：いません
イ：しません
ウ：ありませんでしたかない
エ：ありません

答え・解説

正答：エ

ア：「いません」は人・動物の存在否定です。

イ：「しません」は動作の非過去否定で、この経験構文には入りません。

ウ：「ありませんでしたかない」は誤った形です。

エ：経験がないことを表す「～たことはありません」が適切です。

総合解説：経験の否定は「～たことはありません」とします。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0085

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】A：日本へいったことがありますか。B：はい、_____。

ア：あります

イ：います

ウ：いきます

エ：ありましたか

答え・解説

正答：ア

ア：経験の有無を尋ねられているので「はい、あります」が自然です。

イ：「います」は生き物の存在です。

ウ：「いきます」はこれから行く・習慣を表し、経験への返答ではありません。

エ：「ありましたか」は質問形になっており返答ではありません。

総合解説：「～たことがありますか」への基本的な肯定応答を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0086

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】わたしは まいあさ _____ 7じに おきます。

ア：ぜんぜん

イ：いつも

ウ：あまり

エ：まだ

答え・解説

正答：イ

ア：「ぜんぜん」は通常否定と結びつきます。

イ：「まいあさ」と規則的な習慣を述べるので「いつも」が自然です。

ウ：「あまり」も通常否定と結びつきます。

エ：「まだ」は未完了・継続などを表し、頻度表現ではありません。

総合解説：高い頻度・習慣を表す「いつも」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0087

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】わたしは _____ えいがを みます。1か月に 2かいぐらいです。

- ア：いつも
イ：ぜんぜん
ウ：ときどき
エ：まいにち

答え・解説

正答：ウ

ア：「いつも」は非常に高い頻度です。
イ：「ぜんぜん」は通常否定表現と結びつきます。
ウ：月に2回程度なので、時々という頻度の「ときどき」が適切です。
エ：「まいにち」は毎日で、月2回という情報と合いません。
総合解説：具体的な頻度から「ときどき」を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0088

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】わたしは コーヒーを あまり _____。

- ア：のみます
イ：のみました
ウ：のんでいます
エ：のみません

答え・解説

正答：エ

ア：「あまり のみます」は標準的な基本用法では不自然です。
イ：「のみました」は過去肯定で、否定になりません。
ウ：「のんでいます」は継続・習慣を表しますが、「あまり」とは否定形が必要です。
エ：「あまり」は通常否定と結びつくので「あまり のみません」が適切です。
総合解説：低頻度を表す「あまり～ません」の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0089

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：標準

【問題】わたしは さかなを ぜんぜん _____。

ア：たべません

イ：たべます

ウ：たべました

エ：たべています

答え・解説

正答：ア

ア：「ぜんぜん」はN5の基本用法では否定と結びつき、「ぜんぜん たべません」とします。

イ：「ぜんぜん たべます」は基本的な試験文法では不適切です。

ウ：「たべました」は過去肯定です。

エ：「たべています」は肯定の継続・習慣です。

総合解説：「ぜんぜん～ません」で『まったく～ない』を表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0090

文法形式選択 > 授受・経験・頻度など | 難易度：応用

【問題】A：ふじさんに のぼった ことがありますか。B：いいえ、まだ _____。

ア：あります

イ：ありません

ウ：のぼります

エ：いました

答え・解説

正答：イ

ア：「あります」では経験があるという肯定になります。

イ：経験がまだないので「まだ ありません」が自然です。

ウ：「のぼります」はこれからの動作・習慣で、経験の返答ではありません。

エ：「いました」は人・動物の過去存在です。

総合解説：経験表現の質問に対し、「まだありません」で未経験を表す用法を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0091

文の組み立て > 語順 | 難易度：基礎

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

これは _____ です。

〔わたしが / きのう / かった / ほん〕

ア：かった

イ：わたしが

ウ：きのう

エ：ほん

答え・解説

正答：ア

ア：「これはわたしがきのう かった ほんです」となり、 には「かった」が入ります。

イ：「わたしが」は修飾節の主語で、通常「かった」の前に置かれます。

ウ：「きのう」は時を表し、「かった」を修飾します。

エ：「ほん」は修飾節の後に置かれる名詞で、最後の位置です。

総合解説：名詞「ほん」を修飾する節は「わたしがきのう かった」の順でまとまります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0092

文の組み立て > 語順 | 難易度：基礎

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

わたしは _____。

〔日本語を / 毎日 / 一時間 / べんきょうします〕

ア：日本語を

イ：一時間

ウ：毎日

エ：べんきょうします

答え・解説

正答：イ

ア：「日本語を」は動作の対象で、「べんきょうします」の前に置きますが の位置ではありません。

イ：「わたしは 毎日 日本語を 一時間 べんきょうします」が自然で、 には「一時間」が入ります。

ウ：「毎日」は頻度を示し、文の前方に置くのが自然です。

エ：「べんきょうします」は述語なので最後に置きます。

総合解説：頻度→対象→時間量→動詞のまとまりを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0093

文の組み立て > 語順 | 難易度：基礎

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

田中さんは _____。
〔 駅で / 友達と / あって / 映画を みました 〕

ア：駅で
イ：友達と
ウ：あって
エ：映画を みました

答え・解説

正答：ウ

ア：「駅で」は会った場所を示します。

イ：「友達と」は会う相手を示します。

ウ：「田中さんは 駅で 友達と あって 映画をみました」となり、 は「あって」です。

エ：「映画をみました」は後続の動作で文末です。

総合解説：て形「あって」が前後の動作をつなぎます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0094

文の組み立て > 語順 | 難易度：基礎

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

わたしの うち は _____ あります。
〔 駅の / ちかくに / スーパーが / 二つ 〕

ア：駅の
イ：ちかくに
ウ：スーパーが
エ：二つ

答え・解説

正答：エ

ア：「駅の」は「ちかく」を修飾します。

イ：「ちかくに」は存在場所を示します。

ウ：「スーパーが」は存在する物を示します。

エ：「わたしの うち は 駅の ちかくに スーパーが 二つ あります」となり、 には数量「二つ」が入ります。

総合解説：存在文では、場所・対象・数量が「あります」の前に置かれます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0095

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

あした _____ です。

〔学校へ／いく／ひつようが／ありません〕

ア：ひつようが

イ：学校へ

ウ：いく

エ：ありません

答え・解説

正答：ア

ア：「あした 学校へ いく ひつようが ありません」となり、 は「ひつようが」です。

イ：「学校へ」は移動先で「いく」を修飾します。

ウ：「いく」は「ひつよう」を修飾する節の述語です。

エ：「ありません」は文末の否定述語です。

総合解説：動詞普通形「いく」が名詞「ひつよう」を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0096

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

わたしは _____。

〔友達に／もらった／ほんを／よみました〕

ア：友達に

イ：ほんを

ウ：もらった

エ：よみました

答え・解説

正答：イ

ア：「友達に」は「もらった」の相手です。

イ：「わたしは 友達に もらった ほんを よみました」となり、 には「ほんを」が入ります。

ウ：「もらった」は後ろの「ほん」を修飾します。

エ：「よみました」は文末の述語です。

総合解説：「友達にもらった」が名詞「ほん」を修飾し、その本が読む対象になります。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0097

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

きのうは _____。

〔雨が／ふって／いましたから／出かけませんでした〕

ア：雨が

イ：ふって

ウ：いましたから

エ：出かけませんでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「雨が」は「ふっていました」の主語です。

イ：「ふって」は「いました」と結びつき進行・状態を作ります。

ウ：「きのうは雨がふっていましたから 出かけませんでした」となり、 には「いましたから」が入ります。

エ：「出かけませんでした」は理由を受ける結果の文です。

総合解説：「～이었습니다から」で過去の状況を理由として述べます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0098

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

この かばんは _____。

〔かるくて／とても／つかいやすい／です〕

ア：かるくて

イ：とても

ウ：です

エ：つかいやすい

答え・解説

正答：エ

ア：「かるくて」は前の性質を後ろへつなぎます。

イ：「とても」は「つかいやすい」の程度を強めます。

ウ：「です」は文末に置きます。

エ：「このかばんは かるくて とても つかいやすいです」となり、 は「つかいやすい」です。

総合解説：い形容詞の接続と副詞の位置を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0099

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

母は _____。

〔わたしに / あたらしい / くつを / かって くれました〕

ア：くつを

イ：わたしに

ウ：あたらしい

エ：かって くれました

答え・解説

正答：ア

ア：「母はわたしに あたらしいくつを かってくれました」となり、 は「くつを」です。

イ：「わたしに」は恩恵を受ける相手を示します。

ウ：「あたらしい」は「くつ」を修飾します。

エ：「かってくれました」は文末の述語です。

総合解説：形容詞＋名詞＋目的格「を」のまとまりを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0100

文の組み立て > 語順 | 難易度：標準

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

日曜日に _____。

〔友達と / 公園へ / 行って / テニスを します〕

ア：友達と

イ：行って

ウ：公園へ

エ：テニスを します

答え・解説

正答：イ

ア：「友達と」は共同相手です。

イ：「日曜日に 友達と 公園へ 行って テニスをします」となり、 は「行って」です。

ウ：「公園へ」は移動先です。

エ：「テニスをします」は後続する主要動作です。

総合解説：移動動詞のて形が、目的地で行う次の動作へつなぎます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0101

文の組み立て > 語順 | 難易度：応用

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

わたしは _____ ありません。

〔まだ／日本の／おてらへ／行った ことが〕

ア：まだ

イ：日本の

ウ：行った ことが

エ：おてらへ

答え・解説

正答：ウ

ア：「まだ」は未経験を表す「ありません」と関係します。

イ：「日本の」は「おてら」を修飾します。

ウ：「わたしはまだ 日本の おてらへ 行ったことがありません」となり、 には「行ったことが」が入ります。

エ：「おてらへ」は移動先です。

総合解説：経験表現「～たことがあります／ありません」を組み立てます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0102

文の組み立て > 語順 | 難易度：応用

【問題】つぎの ことばを ならべて、ただしい ぶんをつくります。 にはいる ものを えらびなさい。

先生は _____。

〔学生に／ゆっくり／話して／くださいました〕

ア：学生に

イ：ゆっくり

ウ：くださいました

エ：話して

答え・解説

正答：エ

ア：「学生に」は話す相手を示します。

イ：「ゆっくり」は話し方を修飾します。

ウ：「くださいました」は「～てくださる」の後半で文末です。

エ：「先生は 学生に ゆっくり 話してくださいました」となり、 は「話して」です。

総合解説：「動詞て形＋くださいました」のまとまりを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0103

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

これは() シャシんです。

ア：きのう とった

イ：きのう とります

ウ：きのう とって

エ：きのう とりたい

答え・解説

正答：ア

ア：名詞「シャシん」を修飾する動詞は普通形を使い、過去の動作なので「きのう とった」です。

イ：「とります」は丁寧形で、名詞を直接修飾する基本形にはしません。

ウ：「とって」はて形で、後ろに名詞をそのまま置けません。

エ：「とりたい」は希望を表し、『撮りたい写真』という別の意味です。

総合解説：動詞が名詞を修飾するとき、普通形を使います。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0104

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

あそこに() 人はわたしの先生です。

ア：います

イ：いる

ウ：いて

エ：いました

答え・解説

正答：イ

ア：「います」は丁寧形で、名詞修飾には通常使いません。

イ：現在そこに存在する人を修飾するので、普通形「いる」を使います。

ウ：「いて」はて形で、そのまま名詞を修飾できません。

エ：「いました」は丁寧過去形で、名詞を直接修飾する形ではありません。

総合解説：存在動詞「いる」の普通形で名詞「人」を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0105

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしは() かばんがほしいです。

ア：あかく

イ：あかくて

ウ：あかい

エ：あかいな

答え・解説

正答：ウ

ア：「あかく」は副詞的・接続的な形で、名詞を直接修飾しません。

イ：「あかくて」は接続形です。

ウ：い形容詞はそのまま名詞を修飾し、「あかい かばん」とします。

エ：い形容詞に「な」は付けません。

総合解説：い形容詞＋名詞の基本的な修飾関係を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0106

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

田中さんは() 人です。

ア：しんせつで

イ：しんせつに

ウ：しんせつです

エ：しんせつな

答え・解説

正答：エ

ア：「しんせつで」は接続形です。

イ：「しんせつに」は動詞を修飾する形です。

ウ：「しんせつです」は文末の述語形で、そのまま後ろの名詞「人」を修飾できません。

エ：な形容詞が名詞を修飾するときは「しんせつな 人」とします。

総合解説：な形容詞＋「な」＋名詞の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0107

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：標準

【問題】（ ）にはいるものをえらびなさい。

これは日本語を（ ）本です。

ア：ペンキょうする

イ：ペンキょうします

ウ：ペンキょうして

エ：ペンキょうしたいです

答え・解説

正答：ア

ア：用途を表す名詞修飾では普通形「ペンキょうする 本」が自然です。

イ：「ペンキょうします」は丁寧形です。

ウ：「ペンキょうして」はて形で、名詞を直接修飾しません。

エ：「ペンキょうしたいです」は文末形で、名詞修飾として不適切です。

総合解説：動詞普通形が後ろの名詞の用途・内容を説明します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0108

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：標準

【問題】（ ）にはいるものをえらびなさい。

わたしがいつも（ ）店は 駅の ちかくです。

ア：行きます

イ：行く

ウ：行って

エ：行きましたです

答え・解説

正答：イ

ア：「行きます」は丁寧形です。

イ：習慣的に行く店なので、名詞修飾の普通形「行く」を使います。

ウ：「行って」はて形です。

エ：「行きましたです」は誤った形です。

総合解説：習慣を表す非過去普通形で名詞を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0109

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

これは友達がわたしに() プレゼントです。

ア：くれました

イ：くれて

ウ：くれた

エ：くれるです

答え・解説

正答：ウ

ア：「くれました」は丁寧形です。

イ：「くれて」はて形で、名詞を直接修飾しません。

ウ：過去にもらったプレゼントを説明するので「くれた プレゼント」です。

エ：「くれるです」は誤った形です。

総合解説：授受動詞の普通形過去で名詞を修飾します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0110

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしは() 町に すみたいです。

ア：しずかで

イ：しずかに

ウ：しずかです

エ：しずかな

答え・解説

正答：エ

ア：「しずかで」は接続形です。

イ：「しずかに」は動詞修飾です。

ウ：「しずかです」は文末の述語形です。

エ：名詞「町」を修飾するな形容詞なので「しずかな 町」です。

総合解説：な形容詞の連体修飾を文脈で確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0111

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

あれは先生が() 車です。

ア：のっている

イ：のります

ウ：のって

エ：のりましたです

答え・解説

正答：ア

ア：現在先生が乗っている車を説明するので「のっている 車」が自然です。

イ：「のります」は丁寧形ではなく普通形ですが、現在進行・状態の意味がなく文脈とずれます。

ウ：「のって」はて形だけでは名詞を直接修飾できません。

エ：「のりましたです」は誤った形です。

総合解説：「～ている」の普通形で現在の状態を名詞に結びつけます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0112

文の組み立て > 修飾関係 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

きのう() りょうりはとてもおいしかったです。

ア：母をつくった

イ：母がつくった

ウ：母がつくります

エ：母につくって

答え・解説

正答：イ

ア：「母を」では母が作られる対象になってしまいます。

イ：料理を作った人が主語なので「母がつくった りょうり」です。

ウ：「つくります」は丁寧形で、名詞修飾には通常使いません。

エ：「母につくって」では文が途中で、名詞修飾節として完成しません。

総合解説：修飾節の中では、主語に「が」を使う基本形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0113

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：基礎

【問題】「先生に 日本語を ならう」内容になる、ただしいぶんを えらびなさい。

ア：わたしは 先生を 日本語に なっています。

イ：わたしに 先生は 日本語を なっています。

ウ：わたしは 先生に 日本語を なっています。

エ：わたしは 先生で 日本語が なっています。

答え・解説

正答：ウ

ア：格助詞の役割が逆になっています。

イ：「わたしに先生は」では授受・学習関係が不自然です。

ウ：学ぶ人「わたし」が主題、教える相手「先生」に、学ぶ対象「日本語」を、動作は「なっています」とするのが正しいです。

エ：「先生で」「日本語が」はこの動詞の格関係に合いません。

総合解説：「AはBにCを ならう」という格関係と「～ています」の形を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0114

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：基礎

【問題】「雨だったので 出かけなかった」内容になる、ただしいぶんを えらびなさい。

ア：きのうは 雨を ふっていたので、出かけませんでした。

イ：きのうは 雨が ふりましたので、出かけないでした。

ウ：きのうは 雨で ふっていたを、出かけませんでした。

エ：きのうは 雨が ふっていたので、出かけませんでした。

答え・解説

正答：エ

ア：「雨をふる」とは言いません。

イ：前半は可能でも、後半「出かけないでした」が標準的ではありません。

ウ：助詞と接続の形が崩れています。

エ：「雨がふる」で主語は「が」、過去の状況は「ふっていた」、結果は丁寧過去否定「出かけませんでした」が自然です。

総合解説：主語の格、継続過去、理由接続、丁寧過去否定をまとめて確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0115

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：標準

【問題】「食事のあとで 薬を飲む」内容になる、ただしい ぶんを えらびなさい。

ア：ごはんを たべてから、くすりを のみます。

イ：ごはんが たべてから、くすりに のみます。

ウ：ごはんを たべますから、くすりを のんです。

エ：ごはんを たべたてから、くすりが のみます。

答え・解説

正答：ア

ア：食べる対象は「を」、順序は「～てから」、薬も飲む対象なので「を」を使います。

イ：「ごはんが」「くすりに」は格が不適切です。

ウ：「たべますから」は理由表現になり、「のんです」も誤りです。

エ：「たべたてから」は誤った活用で、「くすりが」も目的語になっていません。

総合解説：格助詞と「～てから」の正しい組み立てを確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0116

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：標準

【問題】「バスで駅まで行き、そのあと歩く」内容になる、ただしい ぶんを えらびなさい。

ア：駅へ バス を 行って、そこを 歩きます。

イ：駅まで バス で 行って、そこから 歩きます。

ウ：駅まで バス に 行きて、そこから 歩きます。

エ：駅まで バス で 行った、そこから 歩きます。

答え・解説

正答：イ

ア：「バスを 行く」は手段の格が誤りです。

イ：終点は「まで」、手段は「で」、「行く」のて形は「行って」で動作をつなぎます。

ウ：「バスに行く」はバスを目的地のように扱い、「行きて」も誤りです。

エ：動作接続には「行った」ではなく「行って」が必要です。

総合解説：移動表現の助詞とて形の両方を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0117

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：標準

【問題】「部屋に 机が二つある」内容になる、ただしいぶんを えらびなさい。

ア：このへやでつくえを二ついます。

イ：このへやにはつくえを二つ あります。

ウ：このへやにはつくえが二つ あります。

エ：このへやへつくえが二つ います。

答え・解説

正答：ウ

ア：「で」「を」「います」がすべて存在文の基本形に合いません。

イ：存在する対象に「を」は使いません。

ウ：物の存在場所は「に」、存在する物は「が」、物なので「あります」を使います。

エ：方向の「へ」と生き物用の「います」が不適切です。

総合解説：存在文の助詞・数量・存在動詞をまとめて判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0118

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：標準

【問題】「友達にもらった傘を使っている」内容になる、ただしいぶんを えらびなさい。

ア：わたしは 友達が もらいました かさに使っています。

イ：わたしを 友達に もらった かさが使っています。

ウ：わたしは 友達を もらって かさを 使いました。

エ：わたしは 友達に もらった かさを 使っています。

答え・解説

正答：エ

ア：名詞修飾に丁寧形「もらいました」を使えず、「かさに」も不適切です。

イ：主題と目的語・主語の格が崩れています。

ウ：「友達をもらう」という意味になり、「使いました」も誤活用です。

エ：「友達にもらった」が「かさ」を修飾し、その傘を「を」で目的語にして「使っています」とします。

総合解説：名詞修飾・授受の格・継続形を一つの文で確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0119

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：応用

【問題】「明日ひまなら 映画に誘う」内容になる、ただしいづんを えらびなさい。

ア：あした ひまなら、いっしょに えいがを みませんか。

イ：あした ひまを、いっしょに えいがが みませんか。

ウ：あした ひまですなら、いっしょに えいがを みましたか。

エ：あした ひまなら、いっしょに えいがに みませんか。

答え・解説

正答：ア

ア：な形容詞・名詞的述語「ひま」の条件は「ひまなら」、見る対象は「を」、誘いは「～ませんか」です。

イ：条件形・目的格が誤っています。

ウ：「ひまですなら」は基本形として不自然で、「みましたか」は過去質問です。

エ：映画は見る対象なので「に」ではなく「を」です。

総合解説：条件、格助詞、誘い表現を組み合わせた文を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0120

文の組み立て > 助詞・活用を含む組み立て | 難易度：応用

【問題】「日本へ行った経験はないが、行きたい」内容になる、ただしいづんを えらびなさい。

ア：日本を 行く ことが いませんが、いつか 行きますたいです。

イ：日本へ 行った ことが ありませんが、いつか 行きたいです。

ウ：日本へ 行って ことが ありませんが、いつか 行ったいです。

エ：日本に 行きました ことを ありませんが、いつか 行きたいです。

答え・解説

正答：イ

ア：移動先の助詞、経験表現、希望形がすべて誤っています。

イ：経験は「行ったことがありません」、希望はます語幹「行き」+「たい」で「行きたい」です。

ウ：「行ってこと」は誤りで、「行ったい」も誤活用です。

エ：名詞修飾に丁寧形を使い、「ことをありません」も「行きたい」も誤りです。

総合解説：経験表現と希望表現を一文で組み立てる応用問題です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0121

文章の文法 > 接続 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

きょうは雨です。()、かさを もって いきます。

ア：でも

イ：そして

ウ：だから

エ：それから

答え・解説

正答：ウ

ア：「でも」は逆接を表します。

イ：「そして」は並列・追加を表し、理由と結果の関係が弱くなります。

ウ：前の「雨です」が理由、後ろの「かさを もって いきます」が結果なので「だから」が合います。

エ：「それから」は時間的な順序を表します。

総合解説：理由→結果をつなぐ基本接続「だから」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0122

文章の文法 > 接続 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

この みせは やすい です。()、とても おいしい です。

ア：だから

イ：でも

ウ：それから

エ：そして

答え・解説

正答：エ

ア：「だから」では前文が後文の原因になる関係が強すぎます。

イ：「でも」は逆接ですが、内容は対立していません。

ウ：「それから」は時間順の意味が中心です。

エ：「安い」と「おいしい」という同方向の情報を追加するので「そして」が自然です。

総合解説：情報を並べて追加するときの「そして」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0123

文章の文法 > 接続 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

この かばんは たかいです。()、とても べんりです。

ア：でも

イ：だから

ウ：そして

エ：それから

答え・解説

正答：ア

ア：「高い」という不利な点と「便利」というよい点を対比するので「でも」が適切です。

イ：「だから」は因果関係を表します。

ウ：「そして」は同方向の追加で、対比が弱くなります。

エ：「それから」は順序を表します。

総合解説：対立する内容をつなぐ「でも」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0124

文章の文法 > 接続 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

あさ 7 じに おきました。()、かおを あらいました。

ア：でも

イ：それから

ウ：だから

エ：それでも

答え・解説

正答：イ

ア：「でも」は逆接です。

イ：起きた後に顔を洗うという時間的な順序なので「それから」が適切です。

ウ：「だから」は理由・結果を表します。

エ：「それでも」はこの形では使いません。

総合解説：出来事の順序を示す「それから」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0125

文章の文法 > 接続 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

きのうはつかれていました。()、はやくねました。

ア：でも

イ：そして

ウ：それで

エ：それから

答え・解説

正答：ウ

ア：「でも」は逆接です。

イ：「そして」は追加で、因果関係が弱いです。

ウ：疲れていたことが原因で早く寝たので、結果を導く「それで」が自然です。

エ：「それから」は単なる時間順になり、理由→結果の意味が弱くなります。

総合解説：前文の状況を原因として結果を述べる「それで」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0126

文章の文法 > 接続 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしはさかながすきです。()、にくはあまりたべません。

ア：だから

イ：それから

ウ：そして

エ：でも

答え・解説

正答：エ

ア：「だから」は因果関係になり不自然です。

イ：「それから」は順序を表します。

ウ：「そして」は単純追加で、対照の意味を表しません。

エ：魚が好きという話題に対して、肉はあまり食べないという対照を示すので「でも」が自然です。

総合解説：内容の対照を示す接続を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0127

文章の文法 > 接続 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

スーパーでパンを かいました。()、ぎゅうにゅうも かいました。

ア：そして

イ：でも

ウ：だから

エ：それで

答え・解説

正答：ア

ア：買ったものを追加して述べるので「そして」が自然です。

イ：「でも」は逆接です。

ウ：「だから」は理由→結果です。

エ：「それで」は前文を原因とする結果を表します。

総合解説：同じ種類の情報を追加する接続を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0128

文章の文法 > 接続 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

電車が こなかったです。()、学校におくれました。

ア：そして

イ：それで

ウ：でも

エ：それから

答え・解説

正答：イ

ア：「そして」は追加です。

イ：電車が来なかった結果、学校に遅れたので「それで」が適切です。

ウ：「でも」は逆接です。

エ：「それから」は時間順を示しますが、原因結果のつながりが弱くなります。

総合解説：原因となる出来事と結果を文章の中で結びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0129

文章の文法 > 接続 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

日曜日はそうじをします。()、せんとくをします。

ア：だから

イ：でも

ウ：それから

エ：それで

答え・解説

正答：ウ

ア：「だから」は理由・結果です。

イ：「でも」は逆接です。

ウ：二つの家事を順に行う流れなので「それから」が自然です。

エ：「それで」は原因を受けた結果を述べます。

総合解説：行動の順序を示す接続語を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0130

文章の文法 > 接続 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

このへやはせまいです。()、駅からちかくてべんりです。

ア：それから

イ：だから

ウ：そして

エ：でも

答え・解説

正答：エ

ア：「それから」は順序です。

イ：「だから」では狭いことが便利さの理由になってしまいます。

ウ：「そして」は追加ですが、ここでは対比を明示する「でも」が適切です。

エ：「狭い」という欠点と「便利」という利点を対比するので「でも」が最も自然です。

総合解説：複数文の評価が反対方向にあることを読み取り、逆接を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0131

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：これはだれのかさですか。

B：() はわたしのです。

ア：それ

イ：これ

ウ：あれ

エ：どこ

答え・解説

正答：ア

ア：相手Aが持っている・示している物をBから指すので「それ」が自然です。

イ：「これ」は話し手Bの近くの物を指します。

ウ：「あれ」は両者から遠い物を指します。

エ：「どこ」は場所を尋ねる疑問詞です。

総合解説：こ・そ・あの距離関係を会話の視点から判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0132

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしはきのうほんをかりました。() ほんはとてもおもしろいです。

ア：この

イ：その

ウ：あの

エ：どの

答え・解説

正答：イ

ア：「この」は話し手の近くの物を新たに示す感じが強く、前文の照応としては「その」が基本です。

イ：前文で出た「ほん」を受けて指すので「そのほん」が自然です。

ウ：「あの」は話し手・聞き手の双方から離れた物や共有知識を指します。

エ：「どの」は疑問の連体詞です。

総合解説：前に出た名詞を受ける「その」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0133

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：トイレはどこですか。

B：() です。あのドアのとなりです。

ア：ここ

イ：そこ

ウ：あそこ

エ：これ

答え・解説

正答：ウ

ア：「ここ」は話し手Bのすぐ近くです。

イ：「そこ」は聞き手側・比較的近い場所を指します。

ウ：Bが少し離れた場所を指して「あそこです」と答える文脈です。

エ：「これ」は物を指し、場所には使いません。

総合解説：場所を指す「ここ・そこ・あそこ」の区別を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0134

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：このペン、つかってもいいですか。

B：はい、() をつかってください。

ア：ここ

イ：そこ

ウ：あの

エ：それ

答え・解説

正答：エ

ア：「ここ」は場所です。

イ：「そこ」も場所です。

ウ：「あの」は後ろに名詞が必要な連体詞で、単独では使えません。

エ：Aが手にしている「このペン」をBから指すので「それ」が自然です。

総合解説：会話相手側の物を指す「それ」を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0135

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

田中さんは新しい車を かいました。わたしも() がほしいです。

ア：それ

イ：そこ

ウ：その

エ：どこ

答え・解説

正答：ア

ア：前文の「新しい車」を代名詞で受けるので「それ」が適切です。

イ：「そこ」は場所です。

ウ：「その」は後ろに名詞が必要です。

エ：「どこ」は場所の疑問詞です。

総合解説：前文の名詞を代名詞「それ」で受ける照応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0136

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：きのう 駅の ちかくの レストランへ 行きました。

B：() は どちらでしたか。

ア：それ

イ：そこ

ウ：その

エ：これ

答え・解説

正答：イ

ア：「それ」は物・事を指す代名詞で、場所としては「そこ」が自然です。

イ：前文で出た場所「レストラン」を場所代名詞で受けるので「そこ」が適切です。

ウ：「その」は後ろに名詞が必要です。

エ：「これ」は話し手の近くの物を指します。

総合解説：前文で示された場所を「そこ」で受けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0137

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：どの かばんが あなたのですか。

B：() です。いすの うえに ある かばんです。

ア：ここ

イ：あそこ

ウ：あれ

エ：どれの

答え・解説

正答：ウ

ア：「ここ」は場所です。

イ：「あそこ」も場所を指し、かばんそのものの代名詞ではありません。

ウ：離れた場所にある物を指して「あれです」と答えるのが自然です。

エ：「どれの」は疑問表現としてもこの文に合いません。

総合解説：物を指す「あれ」と場所を指す「あそこ」を区別します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0138

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしの 学校には 大きい としょかんがあります。() でよく べんきょうします。

ア：それで

イ：それで

ウ：これで

エ：そこで

答え・解説

正答：エ

ア：「それで」は接続表現として『そのため』などの意味になり、場所を示しません。

イ：「それで」という形はありません。

ウ：「これで」は手段・区切りなどの意味になり、場所照応ではありません。

エ：前文の場所「としょかん」を受け、そこで勉強するので「そこで」が適切です。

総合解説：前に出た場所を「そこで」で受け、後続の動作場所を示します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0139

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：この料理はからいですね。

B：はい。でも、わたしは() が好きです。

ア：こういう料理

イ：どこかの料理

ウ：あの 人

エ：その ところ

答え・解説

正答：ア

ア：直前に話題になった『辛い料理のような料理』を受けるので「こういう料理」が自然です。

イ：「どこかの料理」は場所不明の料理という意味で、性質を受けていません。

ウ：「あの 人」は人物を指します。

エ：「そのところ」は場所・部分を指し、料理の種類を表しません。

総合解説：前文の性質をまとめて受ける表現を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0140

文章の文法 > 指示・省略・照応 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：きょう先生に しつもんしましたか。

B：いいえ、まだ() 。

ア：先生です

イ：していません

ウ：そうです

エ：ここです

答え・解説

正答：イ

ア：「先生です」は人の説明で、質問行為への返答ではありません。

イ：質問したかどうかを受け、動詞「しつもんする」を省略せず補えば「まだしていません」です。

ウ：「そうです」はこの質問への未完了否定になりません。

エ：「ここです」は場所を示します。

総合解説：会話では前文の動作を受けて返答します。ここでは「まだ～ていません」が自然です。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0141

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしは 毎朝 6じにおきます。きょうは 日曜日ですから、8じまで()。

ア：ねます

イ：ねません

ウ：ねていました

エ：ねたいです

答え・解説

正答：ウ

ア：「ねます」は非過去で、今朝すでに終わった出来事と合いません。

イ：「ねません」は否定になり文意と反対です。

ウ：日曜日の今朝、8時まで寝ていたという過去の継続を表すので「ねていました」が合います。

エ：「ねたいです」は現在の希望を表し、過去の事実ではありません。

総合解説：前文の習慣と『今日は日曜』という状況から、過去の継続形を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0142

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

あした テストがあります。ですから、きょうは テレビを()、べんきょうします。

ア：みて

イ：みました

ウ：みたいです

エ：みないで

答え・解説

正答：エ

ア：「みて」ではテレビを見てから勉強する意味になります。

イ：「みました」は過去形で文を接続できません。

ウ：「みたいです」は希望を表します。

エ：テレビを見ずに勉強するという意味なので「みないで」が自然です。

総合解説：目的に合わせ、否定した動作を背景に次の動作を行う「～ないで」を判断します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0143

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：基礎

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

田中さんは日本に 3年 すんでいます。日本語を() ことができます。

ア：はなす

イ：はなして

ウ：はなしました

エ：はなしたい

答え・解説

正答：ア

ア：能力表現「～ことができます」の前は動詞辞書形なので「はなす」です。

イ：「はなして」はて形で、この構文には入りません。

ウ：「はなしました」は丁寧過去形で、名詞化の前には置きません。

エ：「はなしたい」は希望を表し、能力表現と意味が変わります。

総合解説：文脈上の能力を「辞書形＋ことができます」で表します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0144

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

このへやはちょっとくらいです。まどを() もいいですか。

ア：あける

イ：あけて

ウ：あけました

エ：あけたい

答え・解説

正答：イ

ア：「あけるもいいですか」は誤りです。

イ：許可を求める「～てもいいですか」なので、て形「あけて」を使います。

ウ：「あけましたもいいですか」は誤りです。

エ：「あけたいもいいですか」は希望と許可表現が正しくつながりません。

総合解説：状況を受けて許可を求める文法「～てもいいですか」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0145

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：そのほん、もうよみましたか。

B：いいえ、まだ()。

ア：よみました

イ：よみます

ウ：よんでいません

エ：よみませんでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「よみました」では完了したことになります。

イ：「よみます」は今後・習慣の意味で、未完了の返答として弱いです。

ウ：「まだ」と未完了を表すので「まだ よんでいません」が最も自然です。

エ：「よみませんでした」は過去に読まなかったという意味で、『まだ』の未完了とは異なります。

総合解説：「もう～ましたか」に対する「まだ～ていません」の対応を確認します。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0146

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

きのう友達がうちへきました。いっしょにごはんを()、映画をみました。

ア：たべる

イ：たべます

ウ：たべたです

エ：たべて

答え・解説

正答：エ

ア：「たべる」は辞書形で、そのまま後続動作につなげません。

イ：「たべます」は丁寧形で中止法としては不適切です。

ウ：「たべたです」は誤った形です。

エ：過去の二つの動作を順につなぐので、前の動詞をて形「たべて」にします。

総合解説：文章中で複数の過去動作をて形でつなぎます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0147

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

このスーパーはうちから ちかいです。ものも やすいです。だから、わたしは(_____)
ここで かいものを します。

ア：よく

イ：まだ

ウ：あまり

エ：ぜんぜん

答え・解説

正答：ア

ア：近くて安いので頻繁に利用する文脈なので「よく」が自然です。

イ：「まだ」は未完了などを表し、頻度ではありません。

ウ：「あまり」は通常否定と結びつきます。

エ：「ぜんぜん」も基本的に否定と結びつきます。

総合解説：前文の理由から、頻度の高い副詞「よく」を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0148

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：標準

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

わたしは りょうりが すきです。でも、まだ すしを(_____) ことがありません。

ア：つくります

イ：つくった

ウ：つくって

エ：つくりたい

答え・解説

正答：イ

ア：「つくります」は丁寧非過去です。

イ：経験の否定「～たことはありません」なので、動詞た形「つくった」を使います。

ウ：「つくって」はて形です。

エ：「つくりたい」は希望を表します。

総合解説：経験表現に必要な動詞た形を文脈から選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0149

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

あしたは休みです。天気がよかったら、友達と こうえんへ() です。

ア：いきました

イ：いっていました

ウ：いきたい

エ：いきませんでした

答え・解説

正答：ウ

ア：「いきました」は過去の事実です。

イ：「いっていました」は過去の継続・反復です。

ウ：明日の予定・希望を述べているので「いきたいです」が自然です。

エ：「いきませんでした」は過去否定です。

総合解説：未来の条件文のあとに話し手の希望「～たい」を続けます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22

0150

文章の文法 > 文脈に合う文法選択 | 難易度：応用

【問題】() にはいるものをえらびなさい。

A：このへやで たばこを すっても いいですか。

B：いいえ、ここでは すっては() 。

ア：いいです

イ：ください

ウ：すいましょう

エ：いけません

答え・解説

正答：エ

ア：「いいです」では許可になります。

イ：「ください」では禁止の形になりません。

ウ：「すいましょう」は一緒に吸う提案になり、許可を断る返答にはなりません。

エ：許可を断り禁止を示すので「～てはいけません」が適切です。

総合解説：会話全体の意味から、許可の反対である禁止表現を選びます。

対象：2026年度 / 基準日 2026-08-22